



若竹だより



【私たちの願い】 ①よろこんで与える人間となろう ②いのちを大切にする人間となろう
③こころ静かに考える人間となろう ④使命に生きる人間となろう ⑤規律ある幸せ喜ぶ人間となろう

法人の社会貢献事業 ①四国八十八カ所巡礼者無料宿泊&お接待 ②講演会・シンポジウム等

【巻頭言】



謹賀新年

園長 宮脇 景子

新年あけましておめでとうございます。

皆様には穏やかに新春を迎えられた事とお慶び申し上げます。また、日頃から温かいご支援・ご協力を賜り御礼申し上げます。2024年も引き続き、子どもたち、職員とも宜しくお願ひ申し上げます。

2020年から猛威を振るった新型コロナウイルス感染症も今年（5月8日）から感染症法上の位置づけが5類感染症に変更され、学園でも感染対策をしながら行事等も通常とおりに実施することができました。

通常とおりに言っても、始めての子どもや職員も多く戸惑いもありました。しかしそれ以上に新しい発見も多くあり、全員で協力しながら楽しくできました。

若竹学園の子どもも職員も前を向いて全力で今年を過ごすことができ、更なるステージに向かい始めることができました。

現状に固執するか新しい環境に適応していくかで、その後が大きく変わると考えています。

来年は辰年です。辰が天に昇のように様々な課題や問題に前向きに取り組み新しいことにも恐れず

チャレンジしていこうと思
います。



ペットボトルロケット

12月10日 J.A.M FACTORY Sanuki Astro Project より大勢のボランティアさんたちが来園してくださり、ペットボトルロケットを子どもと一緒に飛ばしました。



まずは座学から、ロケットや人工衛星が飛ぶ原理について学びました。子ども達全員、興味深々で説明を聞いていました。座学の後は実際にロケットを飛ばしました。



フィルムケースに細かく砕いたドライアイスを入れ、水を少量入れて3秒待ち蓋をして、発射台に乗せて、飛んだ距離を競いました。10m以上の記録が発表されると、真剣な顔つきになり「もう一回したい」と挑戦する子どもも出てきました。最後に表彰式を行いました。

青空に飛んでいくロケットを観る子ども達のすがすがしい笑顔を観ることができました。

このような貴重な体験をさせて頂き、本当にありがとうございました。

いただきます～す！！



食事は、今までは食堂に集まりみんなで食べていましたが、職員の提案から子どもたちも希望し12月から朝食と夕食は、それぞれのフロアで食事を摂ることになりました。

朝食・夕食では、職員が放送をして順番に食堂に集合していましたが、今は食事の時間になると職員が声をかけ、フロアに用意された机に座ります。また、食堂では15分間は喋らずに食べていましたが、フロアでは騒ぎすぎなければ会話をしながら食べることができるようになりました。

当初は、職員も子どもも配膳の方法や雰囲気、がらりと変わって慣れないことも多く不安なこともありましたが、日が経つにつれ手際よく準備ができるようになりました。子どももお手伝いをしてくれたり、食事中に学校の出来事や遊んだことなどを話してくれるので、子どもたちの様子を今まで以上に知ることが増えました。



焼き芋

12月9日、頂いたサツマイモを使って焼き芋作りを行いました。

前日に子ども達が集めてくれた松ぼっくりや細枝などを組み、上手く火起こしができるコツを説明しながら進めていきました。初めは小さかった火も、少しずつ大きくなっていき、焚火の周りがじんわりと暖かくなっていきました。

焼き芋は、サツマイモに新聞紙を巻き水に濡らしたアルミホイルを巻いて準備をしました。大きさに合わせて場所を調整しながら、焚火の中で1時間程加熱しました。コンロでもレンジでもなく焚火で作ったお芋はトロトロの部分やほくほく部分もあり、みんな美味しそうに食べていました。

焚火の周りで職員と一緒に焼き芋を食べる子どももいました。外で食べる機会が少ないので、とても楽しそうに食べ子どもたちの心もほくほくとしていました。



クリスマス会

12月になると、子ども達が楽しみにしているクリスマス会に、どんなことをするんだろうと子どもたちのわくわくした表情があふれてきます。

12月24日にクリスマス会を行いました。第一種目はまさかの園庭で、3チームに分かれて①仮装、ぐるぐるバット②学習プリント③

借り物④二人三脚の種目を寒さにも負けず取り組んでいました。真剣に学習プリント解く



様子や僅差のゴールシーンもあり、白熱したレースでした。また熱い応援合戦も

あり寒さも吹っ飛んでいました。

リレー後は、職員による出し物や子ども達と協力して行う

ゲーム行いました。出し物では、職員のいつもとは違った一面を見て子ども達のボルテージも最高潮でした。



午後からは各フロアに分かれてケーキ作りをしました。初めてケーキ作りをする子どももいる中で各フロアの個性豊かなケーキが出来上がりました。

夕食後に自分たちの作ったケーキを食べ大満足な一日を過ごしました。

はじめまして



亀山学園から研修で来ましたと眞下直申します。短い期間ですが、子どもたちと楽しく年末年始を過ごせたら良いと思っています。児童養護施設とは異なるので施設のルールや雰囲気の違いに慣れるまで時間がかかるかと思えます。初心に戻り子どもたちとの関り方を見直しつつ、今までは違う関わり方や接し方ができるようになりたいです。

分からないことばかりなのでご指導よろしくお願いたします。

分らないことばかりなのでご指導よろしくお願いたします。

12月行事

9日	焼き芋
10日	ペットボトルロケット体験
11日	アンガーマネジメント研修
24日	クリスマス会
28日	もちつき
31日	大晦日

在籍人数

令和6年1月1日現在

区分	県内(人)	県外(人)	合計(人)
小学生	4	1	5
中学生	8	2	10
高校生	3	0	3
合計	15	3	18

ご寄付ありがとうございます。

日本舞踊先生 延命寺 様
お菓子・ジュース等
もみじまんじゅう沢山

編集後記

12月の中旬から一気に寒くなり、みぞれや雪が降り始めました。しかし、予報では年末年始は暖かくなりそうです。子どもたちと一緒に年末年始のイベントをたくさん楽しみたいですね。 児童指導員 酒井

第447発行

〒761-8004 香川県高松市中山町 1501-192

TEL 087-882-1000 FAX 087-882-1160

ホームページ <http://4on.or.jp>

Eメール wakatake@4on.or.jp

編集兼発行者 若竹学園 編集委員

発行責任者 宮脇 景子



五色台分校だより

期末テスト

11月28日から中学生は2学期末テストに取り組みました。どの生徒も日頃の学習の成果を発揮しようと頑張っていました。



校外学習

五色台少年自然センターで、自然科学展示室の見学をしました。職員さんの説明を興味深そうに聞いた後、展示室クイズ



実技教科の授業

美術、音楽、技術は週に1回専門の先生が来て授業をしてくれています。どの生徒も頑張ってお品づくりに取り組んでいます。



にも挑戦し、景品のガ



ーネットカードをもらって嬉しそうにしています。その後、トリムコースから峰の広

情報機器を活用した授業

小学校ではPCを活用して英語の学習をしたり、自己紹介をしてプレゼンテーションのしかたを学習をしたりしました。どの児童も意欲的に取り組んでいました。



場まで登り、体力づくりをしました。全員が意欲的に取り組んでいました。



終業式

12月22日に2学期終業式が行われました。小・中学生ともにきちんとした態度で式に臨み、副校長先生の話をしっかり聞くことができました。